

あらたな想いをカタチに…

100th
Kurataakai

とにもあゆむ



山梨県 新倉山浅間公園

No. 39 春号

＝ も く じ ＝

- 100周年記念歴史編
「倉田会100年の歩み」
倉田会100周年特設Web
サイトQRコード掲載
- 100周年記念事業
倉田会新ロゴマーク公開

倉田会の理念「とにもあゆむ」

◎患者様とともに

患者様とともにトータルケアを目標として歩みます。

◎地域とともに

地域とともに保健事業（予防）・医療・介護福祉事業を展開し地域の健康維持と健康増進を目標として歩みます。

◎関係者とともに

関係機関への情報提供やセカンドオピニオンなど患者様への利益につながるよう努力して歩みます。

◎職員とともに

最良の医療・最良の介護を念頭に患者様、「ご利用者様の利益につながるよう検討し最良のチームを目指し歩みます。



医療法人財団 倉田会

＝100周年記念事業＝

医療法人財団 倉田会の新たなロゴマークが決まりました



医療法人財団 倉田会

2022年4月に職員・関係者を対象に倉田会ロゴマーク選定総選挙が、開催されました。

医療法人財団 倉田会の頭文字「K」をモチーフに患者さまに寄り添い、倉田会と関わるすべての皆さまと「とにもあゆむ」という想いが込められています。



「2022年11月商標登録」

【制作・発行元】

2023年（令和5年）4月1日発行（No.39//春号）
医療法人財団倉田会 理念推進室
～プロジェクトチーム とにもあゆむ～
〒254-0018
神奈川県平塚市東真土4-5-26
TEL0463-53-1955 FAX0463-53-1957
<http://www.kurataakai.or.jp>

【編集後記】今年度、倉田会では創立百周年を迎えました。

百年の歳月には、がむしゃらに頑張る「経験と勤と度胸」から分析重視の「仮説・検証・データ」の新KKD時代に変化しています。しかし知識と理論先行の机上の空論では、経験と知恵に勝るものなしです。最近では、人としての原点である「感性・感謝・出会い」が再認識されています。不安定な時代だからこそ、人の価値観に立ち返ったのかもしれない。

百年「百は白紙に立ち返りーから始まる」先人達の想いに触れる良い機会なのかもしれません。故き良きものは継承し、新たな人の想いをカタチに…まずは「ありがとう」の気持ちをカタチにすることもできませんね。



倉田会100年の歩み

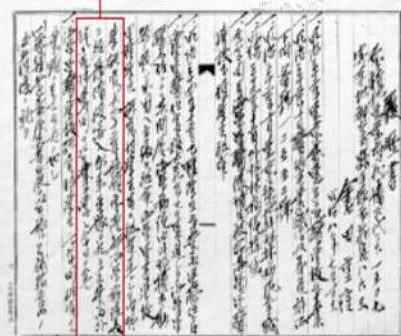
平塚 粁



▲初代院長 倉田 重隆

學研究 大正十二年 旅順要港部海軍病院院長
ヲ 経 備 役 補 入 出 来 平 塚 ニ 於 テ 開 業 内 外
科 小 児 科 專 門 ヲ テ 業 ヲ 営 シ 今 日 ニ 至 ル

▼倉田重隆の履歴書大正12年に平塚に於いて開業と記されている

▲1923年（大正12年）倉田 重隆
宮内庁より正五位に叙される

- 1923年（大正12年）倉田重隆が平塚町新宿（現・明石町）に「倉田療院」を創立
1932年（昭和 7年）倉田療院建屋を新築、内科、外科、小児科に物理科が加わり、
X線撮影装置を導入
1933年（昭和 8年）創立10周年を迎え『創立10年記念誌』を発行
1940年（昭和15年）倉田重久が倉田療院第2代院長に就任
1945年（昭和20年）7月16日の平塚空襲により倉田療院が全焼
1946年（昭和21年）診療再開、倉田療院再建
1951年（昭和26年）9月 倉田療院本館上棟式
1953年（昭和28年）「医療法人財団 倉田会」設立、「倉田病院」に改称
1954年（昭和29年）結核病棟開設
1963年（昭和38年）4月 健康診断業務を開始 8月 救急告示医療機関となる
1967年（昭和42年）病院の新築拡張工事が完了、内科、外科、小児科、胃腸科、
整形外科、放射線科を有する病院となる



▲1933年 倉田療院新築



▲2代目院長 倉田 重久



▲3代目院長 倉田 和久

- 1974年（昭和49年）倉田和久が倉田病院第3代院長に就任
特定医療法人を取得
1980年（昭和55年）二次応需病院として内科・外科同時引き受け
1981年（昭和56年）倉田病院管理棟竣工
1988年（昭和63年）5月 透析医療を開始
1996年（平成 8年）7月「しんど老人保健施設」を平塚市東真土に開設
10月「しんど訪問看護ステーション」を平塚市東真土に開設
1999年（平成11年）8月「倉田病院」を平塚市東真土に移転
名称を「くらた病院」に変更、急性期病床から療養型病床に転換
救急告示を辞退



▲4代目院長 倉田 康久

- 「平塚中央クリニック」を平塚市明石町に開設（旧倉田病院跡地）
2001年（平成13年）10月 平塚市東真土に「しんど在宅介護支援センター」開設
2002年（平成14年）倉田康久が倉田会理事長、くらた病院第4代院長に就任
2004年（平成16年）12月「えいじんクリニック」を平塚市東真土に開設
2006年（平成18年）4月「しんど在宅介護支援センター」を閉所
「平塚市高齢者よろず相談センター倉田会（地域包括支援センター）」を
平塚市東真土に開設
2008年（平成20年）9月「倉田会メディカルサポートクリニック」を平塚市四之宮に開設
2010年（平成22年）4月「平塚中央クリニック」を閉院
2017年（平成29年）4月 くらた病院西病棟の介護型療養病床30床を医療型療養病床に転換し
全病床79床が医療型療養病床となる
2023年（令和 5年）創立100周年を迎える



▲1970年に撮られた50周年の記念写真

▼1999年9月救急医療に精励したことにより表彰される



▲平塚中央クリニック（旧倉田病院跡）

▲1965年ごろの倉田病院（平塚市明石町）

1925年（大正14年）当時の
平塚八幡大門通りの地図に
「倉田医院」と記されている1999年倉田病院を平塚市東真土に移設 ▲
くらた病院に改称

ともにあゆむ

～倉田会 100年の歩み～

医療法人財団倉田会が平塚市に開設して100年。
1923年（大正12年）より、この地に根を張り、これまで地域の皆さまと
ともに歩んでまいりました。

倉田会100周年記念館

倉田会100周年特設サイト
<https://www.kuratahai.or.jp/100th/>